学術年会開催にあたって

木内 祐二（学術年会長）

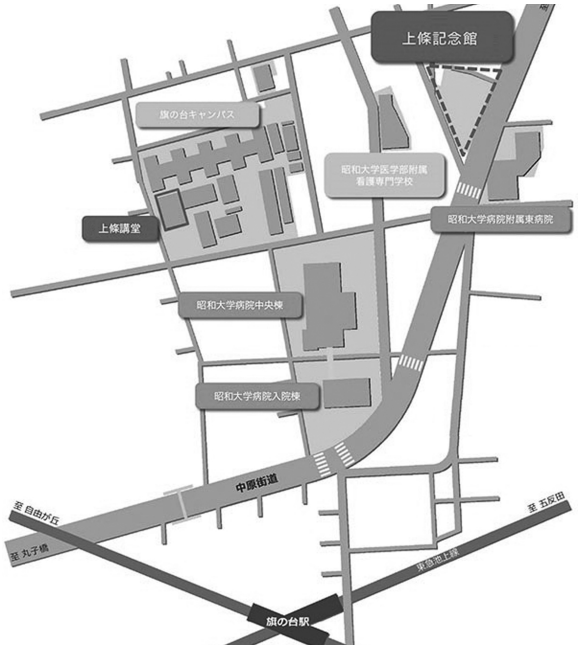
有効で安全な薬物の開発には、基礎研究の段階からヒト組織を用いた検討が望ましいというニーズに応えてHAB研究機構が設立され、現在まで多くの研究機関にヒト組織の提供することで創薬研究に貢献してきました。現在、創薬研究が多様化、高度化するとともに、創薬に対する社会の期待や法的・倫理的規制も従来からは大きく変化しています。それに伴い、ヒト組織を用いた研究に対する新たなニーズや課題も生じ、それを解決するためにヒト組織利用のための新たな仕組み作りが試みられています。また、薬物反応性や薬物動態などには大きな種差があることから、創薬研究では基礎から臨床研究まで、薬物治療の最終目的であるヒトを想定しながら、シームレスに継続的に連携しながら実施することが望まれています。

このような創薬研究のニーズをもとに、第26回学術年会では、「基礎－ヒト－患者をつなぐシームレスな創薬研究の新時代」をメインテーマとして、2日間にわたり議論していただくこととといたしました。1日目のシンポジウムでは、ヒト組織利用のニーズとヒト組織提供の現状と新たな工夫・仕組み作りについて、ヒト組織を利用する立場とヒト組織提供側の立場からそれぞれ紹介していただきます。2日目のシンポジウムでは、基礎から臨床までのシームレスな創薬研究に関わる課題と展望、その実践例として、近年急速に進んだがん免疫療法開発の経緯と今後の展開について提示していただき、トランスレーショナル・リサーチ、リバース・トランスレーショナル・リサーチの在り方を討議していただきます。

さらに、「基礎－ヒト－患者をつなぐシームレスな創薬研究」として、特別講演の高見正道教授には骨代謝研究について、招待講演の青木淳賢教授にはリゾリン脂質研究について、上野直人教授には乳癌に対する免疫療法について、今までの研究と今後の展望をご講演いただきます。

さらに3日目には、がんプレシジョン医療研究センターの中村祐輔所長の企画で「最先端のがん治療はここまできた」をテーマに、市民公開シンポジウムを開催します。

2019年に新設される昭和大学上條記念館を会場に、以上のような魅力的な内容の学術年会を準備しております。多くの皆様がご参加されることを心よりお待ちしております。



昭和大学　上條記念館
（東京都品川区旗の台 1-1-20）

東急池上線・大井町線　旗の台駅東口下車　徒歩7分

都心からお越しの場合は
JR五反田駅より東急池上線 乗換　または
JR大井町駅より東急大井町線 乗換

＜事前参加登録費＞

（要旨集を含む）

HAB研究機構正会員：　8,000円（当日：10,000円）
賛助会員：　8,000円（当日：10,000円）
（一口につき1名でそれ以上は非会員扱い）
非会員：13,000円（当日：15,000円）
学　生：　6,000円（当日：　8,000円）
懇親会参加費：　5,000円

事前参加申込期限：2019年5月27日

※指定の郵便振込用紙をHAB研究機構事務局までご請求下さい。

＜お問い合わせ・お申込み先＞

特定非営利活動法人ＨＡＢ研究機構
〒272-8513
千葉県市川市菅野5-11-13　市川総合病院角膜センター内
TEL　047-329-3563　FAX　047-329-3565
E-mail　secretariat @ hab.or.jp　URL　http://www.hab.or.jp

Non Profit Organization
Human & Animal Bridging Research Organization

第26回ＨＡＢ研究機構学術年会

基礎－ヒト－患者をつなぐ シームレスな創薬研究の新時代

First Circular

ver. 3.0

学術年会長：木内 祐二
（昭和大学医学部）

日時：2019年6月20日（木）～22日（土）
9：30～17：00
会場：昭和大学 上條記念館

協賛：　日本薬物動態学会　日本薬理学会
日本臓器保存生物医学会　日本再生医療学会
化学工学会バイオ部会

後援：　日本毒性学会　日本組織移植学会
日本スキンバンクネットワーク　日本臨床薬理学会

（予定）

最新情報はホームページにて（http://www.hab.or.jp）公開予定です。是非ご参照下さい。

2019年3月印刷

第 26 回 HAB 研究機構学術年会　－ プログラム概要 －

6 月 20 日（木）　9：00 受付開始

09:35~　**シンポジウムⅠ**

生命科学分野におけるヒト由来組織利用の展望
- ヒト組織を利用する立場から -

薬物動態研究におけるヒト試料活用～現在・過去・未来
ヒト臓器らしさを模倣する技術への挑戦の歴史
田端 健司（アステラス製薬株式会社）

多施設臨床検体を用いた肝臓疾患の病態解析
小川 慎志（武田薬品工業株式会社）

臨床開発化合物における患者末梢血を用いた薬効解析
土森 登（武田薬品工業株式会社）

自己免疫疾患患者末梢血を用いた創薬研究について
葛西 義明（武田薬品工業株式会社）

患者検体を利用したがん治療開発システムの構築
田原 秀晃（大阪国際がんセンター研究所）

iPS 細胞由来オルガノイドと Validation
上谷 大介（T-CiRA）

13:10~　**特別講演**

基礎と臨床を繋ぐ骨代謝研究
高見 正道（昭和大学歯学部）

14:20~　**シンポジウムⅡ**

ヒト組織の臨床利用と研究利用の課題と展望
- ヒト組織提供側の立場から -

HAB 研究機構の試料提供事業と課題
深尾 立（HAB 研究機構）

わが国における臓器・組織提供のためのネットワーク・システムと研究転用への課題
寺岡 慧（国際医療福祉大学三田病院）

組織バンクの活動と将来展望
福嶌 教偉（国立循環器病研究センター）

つくばヒト組織バイオバンクセンターの活動と課題
西山 博之（筑波大学医学医療系）

UK、ドイツのバイオバンクの視察報告 – 提供者の視点から
小田 竜也（筑波大学医学医療系）

懇親会

参加費：5,000 円

6 月 20 日（木）17：30 より

年会 1 日目講演終了後に、懇親会を開催いたします。是非皆様ご参加ください。

6 月 21 日（金）　9：00 受付開始

09:30~　**シンポジウムⅢ**

創薬研究の展望と課題

次世代抗体医薬品の早期開発
寺尾 公男（中外製薬株式会社）

核酸 delivery を目的とした Lipid Nanoparticle 製剤開発
兵頭 健治（エーザイ株式会社）

トランスポーター関連希少疾患に対する新規治療戦略の開発を指向した創薬研究　林 久允（東京大学大学院）

希少難病 HTLV-1 関連脊髄症（HAM）の患者参加型の研究と創薬　山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学大学院）

11:40~　**招待講演Ⅰ**

創薬ターゲットの探索研究 – 生理活性リゾリン脂質
青木 淳賢（東北大学大学院）

13:30~　**招待講演Ⅱ**

Recent Advancement and Challenges of Immunotherapy in Breast Cancer.　上野 直人（MD アンダーソンがんセンター）

14:30~　**シンポジウムⅣ**

がん免疫療法の基礎から臨床研究への展開
– 免疫チェックポイント阻害剤の次は？ –

免疫チェックポイント阻害剤キイトルーダのグローバル開発
嶋本 隆司（MSD 株式会社）

がん特異的抗原を標的とした免疫療法の開発
中面 哲也（国立がん研究センター東病院）

がん免疫療法の新しい展開
吉村 清（昭和大学臨床薬理研究所）

胸部悪性腫瘍に対する免疫療法の現状と課題
鈴木 弘行（福島県立医科大学）

一般講演（ポスター）

6 月 21 日（金）昼食時

年会 2 日目の昼食時に、一般講演（ポスター発表）を開催いたします。日頃の研究成果を共有し、議論していただける場をご用意いたします。軽食をご用意いたしますので、多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

6 月 22 日（土）　12：30　受付開始

13:00~　**第 34 回市民公開シンポジウム**

最先端のがん治療はここまできた

がんゲノム・プレシジョン医療：あなたにあわせた個別化医療を　中村 祐輔（がんプレシジョン医療研究センター）

最新の放射線治療
西尾 正道（北海道がんセンター名誉院長）

最先端の前立腺がんの内視鏡・薬物療法
新村 浩明（常磐会病院）

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

組織委員

木内 祐二　（昭和大学医学部）
安藤　治　（第一三共株式会社）
伊藤 晃成　（千葉大学大学院薬学研究院）
宇高 結子　（昭和大学医学部）
内田 直樹　（昭和大学医学部）
楠原 洋之　（東京大学大学院薬学研究科）
小林 英司　（慶應義塾大学医学部）
三邉 武彦　（昭和大学医学部）
高見 正道　（昭和大学歯学部）
田端 健司　（アステラス製薬株式会社）
辻　まゆみ（昭和大学医学部）
月見 泰博　（武田薬品工業株式会社）
角田 卓也　（昭和大学医学部）
沼澤　聡　（昭和大学薬学部）
野部 浩司　（昭和大学薬学部）
平林 英樹　（武田薬品工業株式会社）
山元 俊憲　（昭和大学医学・医療振興財団）

五十音順

※演題ならびに講演順は変更になる場合がございます